

ジカ熱・デング熱対策



かゆいだけではありません!

ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹がでるといった症状が1週間ほど続きます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子供が生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化する可能性があります。

やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

また、流行地に渡航される場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

ジカ熱やデング熱は蚊に刺されることで感染します。

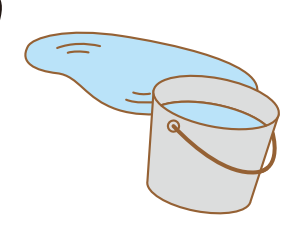
〔ヒトスジシマカ〕

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50～100m程度です。



まあいい力！
では困ります。
放置の溜め水、濁り水。

福岡県 中山直子さん（47歳）



ジカ熱・デング熱の感染もと ヒトスジシマカの 発生源を叩け！

公園だけでは
ありません！



雨ざらしの用具



雨除けのブルーシートや
古タイヤに溜まった水たまり



風通しの悪い
やぶ・草むら



植木鉢の皿



屋外に放置された
空きビン・缶、ペットボトル



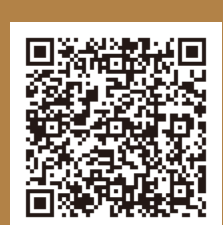
雨水ますや
排水ます

ジカウイルス感染症（ジカ熱）やデング熱の原因となるウイルスは、それらの感染症に感染した人の血を吸った蚊（日本ではヒトスジシマカ）の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。
ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、蚊の数を減らすことができます。

❗ 公園、学校、寺社、空海港、駅などの施設を管理されている方へ
蚊の発生を減らすため、定期的に周辺環境の水たまりの除去、下草刈り、雨水ます・排水ますの清掃などにご協力をお願いします。

ジカ熱やデング熱は蚊に
刺されることで感染します。

〔ヒトスジシマカ〕
背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50～100m程度です。



ジカ熱・デング熱の感染源 ヒトスジシマカに

ちゅうい

注意!



優秀賞

茨城県 大山 藍さん (16歳)

小さくも
大きな脅威
蚊に注意

「夏の蚊対策」広報強化月間「標語」

先生や保護者の方へ

暑い時期になると、蚊が発生します。特にヒトスジシマカはジカ熱やデング熱といった病気を持っているものもいます。

蚊から病気をうつされないためには、

- ①蚊をできるだけ発生させない
- ②蚊にさされない

ことが重要です。

ヒトスジシマカの発生を防ぐには、空き缶や遊具などのくぼみにできた小さな水たまりを作らないことが大切です。また、蚊のいそうなやぶなどに近づくときは、虫除け剤を使用したり、長袖・長ズボンを着用する事を推奨します。

お子様へ

バケツやじょうろのような水がたまるところは、
水がたまらないように、ちゃんとしまっ
てね。



屋外に放置された
子供のおもちゃ



植木鉢の皿



雨ざらしのじょうろ

※重たいものをもつときは、先生や保護者の方におねがいしてね。

